



# SANSPO.COM

## 広島・宮脇寮長が死去 63歳 投手としてロッテと広島で活躍

2015.7.8 22:33

広島は8日、かつてロッテと広島で投手として活躍した宮脇敏さんが8日午前、病気のために死去したと発表した。63歳だった。通夜は9日の午後6時。告別式は10日の午前10時から広島・廿日市市串戸1-7-20、廿日市葬祭会館で営まれる。喪主は妻・桂子さん。

宮脇さんは1972年にロッテに入団後、広島を経て78年に引退。1軍では4試合に登板して勝敗はなかった。現役引退後は広島のフロント入りし、現在は育成部大野寮長を務めていた。

緒方監督は「宮脇さんには新人の時から声をかけてもらったり、若手時代には契約の場でも話をさせてもらったりと、お世話になりました。今年の1月に『監督になって大変だろうが頑張れ』と声をかけていただきました。3月に2軍寮でお会いしたのが最後でした。体調がよくないということは聞いていましたが、こういう結果になり、本当に残念です。今季しっかり戦って最高の結果を宮脇さんに報告できるように精進してまいりたいと思います。心よりご冥福をお祈りいたします」と球団を通じてコメントを発表した。



Copyright (C) 2015 SANKEI DIGITAL INC. All rights reserved.